

EUのインフラ新戦略「グローバル・ゲートウェイ」

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

2022年6月1日

- インフラ関連グローバル株式ファンド（愛称 にいがたインフラサポート）は、【防災・減災】【環境】【医療】【デジタル】に関するインフラ関連株に投資を行っています。
- 本レポートでは、昨年12月に発表されたEU(欧州連合)のインフラ新戦略「グローバル・ゲートウェイ」の概略と新興国を巡るインフラ投資環境、欧州が誇る世界最大級の風力発電メーカー「ヴェスタス・ウィンド・システムズ」をご紹介致します。

「グローバル・ゲートウェイ」とは？

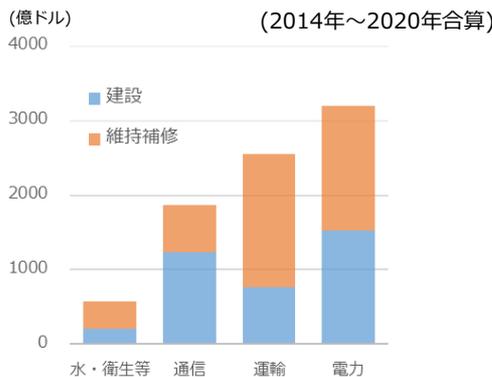
EU域外向けのインフラ支援戦略で、**主に新興国を中心とした投資対象地域**の持続可能な社会を目指し、デジタルや環境などの5つの分野に優先投資を行うものです。

中国の「一帯一路」構想に対抗するビジネス外交の側面もあり、**欧州企業の利益を重視**する姿勢が示されています。また、昨今の地政学リスクを踏まえた安全保障上の役割も期待されています。

新興国の深刻なインフラ不足

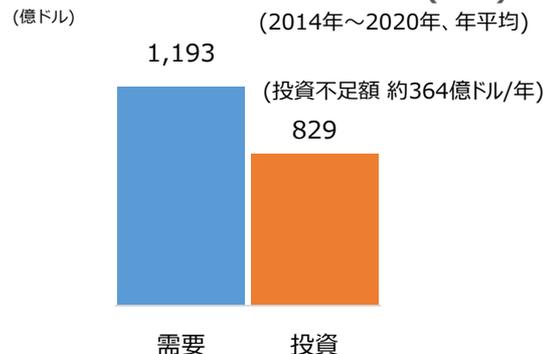
日本や米国などの先進国にはインフラの老朽化などの問題がありますが、「グローバル・ゲートウェイ」の投資対象となる新興国ではインフラ施設の数自体が不十分であったり、簡易的な構造で脆弱なインフラが多いという現状があります。世界銀行の資料によると、新興国では**特に電力や運輸、通信**などビジネスや生活で欠く事のできないインフラ施設の需要が多いと予測されています（図表1）。また、年間約1193億ドル※1のインフラ需要があると試算されていますが、予想される投資額は需要を下回り、年間約364億ドル※1の**投資不足**が指摘されています（図表2）。

図表1 新興国の主要分野別インフラ需要予測



(出所)世界銀行(2015年)および経済産業省(2016年)資料から岡三アセットマネジメント作成

図表2 新興国のインフラ需要と投資(試算)



※1 世界銀行資料より岡三アセットマネジメント算出

新興国へ次世代インフラを輸出

新興国では投資不足が深刻であり、「グローバル・ゲートウェイ」では従来型のインフラ施設や医療体制支援に加え、次世代インフラである「デジタル」、温暖化対策での「クリーン・エネルギー」などの5つの優先投資分野（図表3）を設定し、2027年までに**最大3000億ユーロ(日本円で約40兆円：1ユーロ=136.42円換算)**の投資を行い、投資先の持続可能な社会の実現に向け、インフラ整備を進める考えです。

図表3 優先投資分野

優先分野	具体例
デジタルネットワーク	海底・陸上の光ファイバーケーブル、クラウドデータインフラ
気候変動対策	クリーン・エネルギー移行に向けた再生可能エネルギー、エネルギーの効率化
持続可能な交通網	鉄道・道路・港湾・空港
保健	医薬品、医療品向け等
教育・研究開発	各分野で必要なインフラ

(出所)EU資料から岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

【銘柄紹介】 グローバル・ゲートウェイの担い手と期待される風力発電の雄

ヴェスタス・ウィンド・システムズ ※以下、ヴェスタス (デンマーク)

【事業】 世界最大級の風力発電メーカー

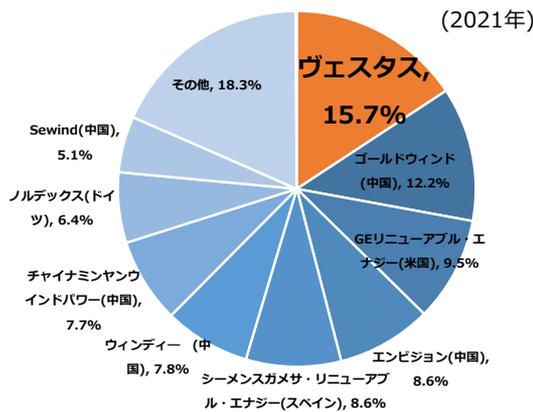
【事業詳細】 米国、欧州、アジア、アフリカなど世界70カ国以上でクライアントを持ち、各地で多くの風力発電タービンを手掛けるほか、保守メンテナンス・サービスも提供
日本では、三菱重工と洋上風力発電で共同出資会社を設立し、ビジネスを展開

【投資の魅力】 各国政府や企業が推進する**再生可能エネルギーへの移行が追い風**

- 脱温暖化対策として、風力発電の需要が拡大
- 昨今の地政学リスクが及ぼすエネルギー確保の観点から注目を集める
- 米国で大きなシェアを持つほか、アフリカや中南米などの新興国でも強い存在感を放つ

➤ 世界一のマーケットシェア

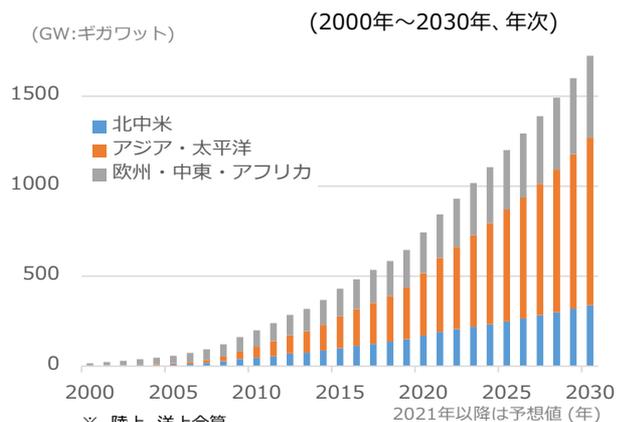
図表4 風力発電機設置数



※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。
(出所)ヴェスタス社資料より岡三アセットマネジメント作成

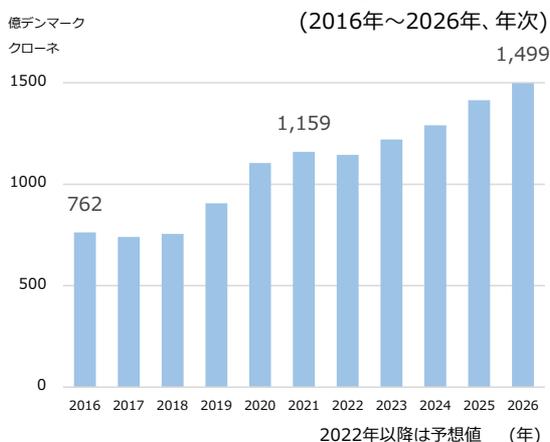
➤ 長期的な市場拡大が見込まれる

図表5 風力発電量推移※



➤ 堅調な売上高推移

図表6 売上高推移



➤ ESG投資銘柄としての注目度も高い

図表7 株価推移



＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■ 本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■ 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■ 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式**
豊かな未来へと導く4つのインフラ

防災・減災インフラ

- 災害に強いインフラ強靱化は世界共通の課題
- ✓ 地形・耐久性調査 ✓ 災害予測
- ✓ 耐久性強化工事技術 ✓ 被災地復旧工事技術

具体例事業

- ・ エンジニアリング
- ・ 補修・復旧機器・サービス
- ・ ソフトウェア・システム
- ・ ドローン・救助用ヘリ


環境インフラ

- 脱炭素化で地球温暖化を防ぐ技術開発が急務
- ✓ 炭素排出量削減技術 ✓ 省エネ技術
- ✓ 新エネルギー技術

具体例事業

- ・ EV(電気自動車)
- ・ 風力・太陽光等のクリーンエネルギー
- ・ 環境コンサルティングサービス


医療インフラ

- 医療技術の進歩が医療インフラの成長を加速させる
- ✓ 医療のデジタル化(遠隔医療、ビッグデータ活用)
- ✓ 免疫細胞技術・mRNAなどの新技術応用の新薬開発
- ✓ 手術用ロボットなどのテクノロジー

具体例事業

- ・ 病院などの医療施設・機関
- ・ 医薬品
- ・ 医療機器・器具
- ・ 医療コンサルティングサービス


デジタルインフラ

- 5G技術などの発展により、デジタルインフラへの投資が年々拡大
- ✓ 大容量高速通信技術 ✓ 5G
- ✓ DX(デジタルトランスフォーメーション) ✓ 新技術(メタバース、決済等)

具体例事業

- ・ 半導体
- ・ 通信
- ・ データセンター
- ・ サイバーセキュリティ

※各テーマの事業例は参考であり、今後変更になる場合があります。

今後の運用方針

今後の世界の株式市場は、米国の物価水準と金融政策の動向で変動する展開を予想しています。また、好業績を発表した銘柄を中心に買い戻しの動きもみられることから、それら銘柄が牽引する形で中長期的には反発すると考えます。

当ファンドが投資対象とするインフラ関連企業には、4テーマ毎に高い技術力、商品開発力、競争力を持つ企業が多く存在し、関連企業の株式への長期的な資金流入が期待できます。

【防災・減災】には、災害に強い橋や道路、建物などの建設ニーズや老朽化対策に対するニーズ、さらに新興国の都市計画などの需要があります。【環境】では、地球温暖化対策として「脱炭素化」がキーワードとなり、クリーンエネルギーや新エネルギー、EVなどの新技術の発展が期待できます。

【医療】では、がんや生活習慣病などの幅広い分野での新薬の開発が見込まれるほか、テクノロジーを利用した医療機器市場などにも注目しています。【デジタル】では、5Gや半導体などの「次世代型インフラ」においては次々と新しいサービスや技術が誕生しており、市場拡大が継続して期待できます。

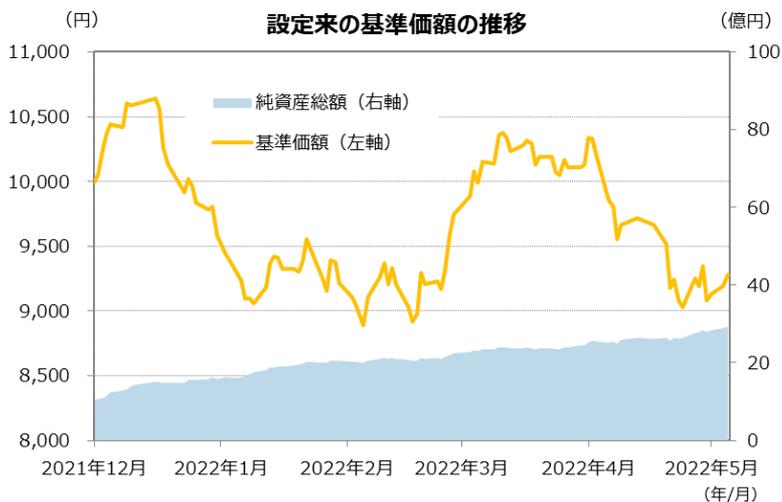
銘柄選定において、事業内容、成長性、収益性、財務状況などを勘案し、バリュエーションや流動性を考慮しながら、中長期的な視点から、ポートフォリオを構築することによって、世界経済の成長に伴う長期で安定的なリターンを享受できるものと考えます。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
 追加型投信／内外／株式

基準価額と純資産推移



ファンドデータ (2022年5月24日現在)

基準価額	9,278円
純資産総額	29.3億円

ポートフォリオ情報

組入上位10銘柄 (2022年5月24日現在)

順位	銘柄名	テーマ	国・地域	ウェイト
1	マイクロソフト	デジタルインフラ	米国	3.0%
2	アップル	医療インフラ	米国	2.8%
3	ジェイコブズ・エンジニアリング・グループ	防災・減災インフラ	米国	2.4%
4	日立製作所	防災・減災インフラ	日本	2.3%
5	HCAヘルスケア	医療インフラ	米国	2.2%
6	ファイザー	医療インフラ	米国	2.1%
7	アメリカン・タワー	デジタルインフラ	米国	2.0%
8	ユニバーサル・ヘルス・サービス	医療インフラ	米国	1.9%
9	ヴェスタス・ウィンド・システムズ	環境インフラ	デンマーク	1.8%
10	テスラ	環境インフラ	米国	1.8%

※上記テーマ分類は、当社独自の考え方により銘柄を分類しているものです。

作成：運用本部

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

インフラ関連グローバル株式ファンドに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.705%（税抜1.55%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>
フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)